

フードバンクしまね あつたか元気便だより

2025.9月発行第31号
フードバンクしまね
あつたか元気便事務局

夏休み8月便641世帯に 酷暑のなか300余人が応援

夏休み第2弾の8月便のあつたか元気便では7月便に引き続き、たくさんのみなさんからのお米の寄贈や寄付などのお力添えで、641世帯（前年同期556世帯）の2,390人（前年同期2,030人）のご家族にお米約4.5トン、食品総量約7.3トン（前年同期6.5トン）を届けることができました。8日の引き渡し日の利用者さんは、合同青果さん寄贈のタマネギ、ジャガイモが300kg、上口福祉会さん寄贈のナス、キュウリなど約35kgもあわせて添えることができました。

ひとり親のAさんからは「お米、いつも助かります。お菓子もグレードアップして子どもたちも大喜びしています。ありがとうございます。」（母子3人家族）と宅急便が届いたその日に早速お礼のメールが届きました。

連日の酷暑のなか、7月23日からはじまった食品チェックや仕分け、箱詰め作業には8月22日までに、のべ323人がボランティアさんとして応援しました。

参加したAさんからは、「また来ます。温かい気持ちになりました。それが届きますように。」と感想を寄せられました。

なお、8月のあつたか元気便では、政府備蓄米（令和6年度産）を600kg使用しました。

こんなメッセージをいたしました

食べ盛りの子どもにいろいろ食べさせてやりたいですが、物価高で今まで買えていたものも手が出しにくい状況です。そんな中、支援の手を差し伸べてください本当に感謝の気持ちでいっぱいです。お米等頂けてありがとうございます。（母子2人家族）

値上がりだらけの中、子どもも増え食べ盛りの子もたくさんいて大変です。ですが、長期休みになる前に届けて下さる食品いっぱいの段ボールを宝箱のように子ども達はワクワクしながら開封しています。最初は利用するのを躊躇していましたが、暖かいメッセージを毎回見て心がホッピします。（6人家族）



いきいきプラザでのパッキング作業

「物価高をやっつけろ！！緊急食卓応援」 牛肉600kgなど316世帯に

長期化する物価高のなかで、夏休み便に引き続き「緊急食卓応援」に取り組みました。

この取り組みには、ニッシングルメビーフさんから提供された600kgの豪州産焼き肉用冷凍牛ロース、スサノオマジックさんから冷凍バームクーヘン320箱などの食卓応援がありました。

おかあさんからは、「お肉と聞いてテンションがあがりました。すぐに申し込みました。」と喜びが寄せられるなど、申し込みのあつた316世帯に9月5日、9月6日を皮切りに受け渡し方式で行いました。



316世帯にお肉の緊急応援

今年から娘が高校生になり、毎日お弁当との戦いです（笑）下の子も中学2年生の食べ盛り（笑）物価高で、ケチりながらの買い物や満足いかない食事だったりする中で、あつたか元気便にすごく助けられています!! 皆さんに支えながらのこの生活をもっと楽しく笑顔で暮らしていくのが目標です。（母子3人家族）



スサノオマジックさんから寄贈

長女が高校生になり、毎日お弁当を持っていくようになってからお米や食材の値上げが家計に響いています。次男もよく食べるようになり、おやつなどの嗜好品も食べたいたるものや量を制限している現状です。（6人家族）

物価高騰がとまらない中、お米の値段も1年で2倍以上となり家計は苦しくなる一方です。そんな中フードバンクが配達されると子ども達の間ではお菓子の争奪戦が始まっています。フードバンクでもお米の準備が大変だったと聞き、携わっておられる方々に感謝の気持ちでいっぱいです。（6人家族）



おやこde「いっしょに作って食べよっ！」

JAくにびき女性部とおたがいさまが協働

7月26日、JAくにびき女性部、地域つながりセンターおたがいさまメンバー主催で「いっしょに作って食べよっ！」を開催。6組の親子さん13名が参加しました。ドライカレー、カリカリベーコンサラダ、ミルクゼリーと一緒に作って食べました。

参加したおかあさんは、「普段は仕事が忙しくてなかなか子どもと一緒に何かをしたりする機会が持てなかったので 子どもにとっても私にとっても すごく充実した時間が過ごせて良かったです。ご飯も大勢で食べられて とても美味しく楽しかったです。」

主催したJAくにびき女性部のAさんは、「フードバンクの利用者さんたちと交流できて、お母さんたちや、子どもたちといろいろお話ししたり、様子を見せていただけて、とても楽しい時間を過ごすことができました。」と感想を寄せられました。



JAくにびき Sun sun 館



学習と体験、 思い出いっぱいの夏休み

おやこ de 「錯覚の不思議展」にご招待

県立美術館での「錯覚の不思議展」を「夏休みに親子で楽しんで」と、大学前のつクリニックさんから、親子チケットの寄贈がありました。希望された利用世帯のかた 20組など、80人のみなさんをご招待しました。

あつたか元気便（8月便）ボランティア参加団体・企業一覧 27 団体・企業（個人除く、敬称略）
城北公民館、忌部公民館、白潟公民館、津田地区民児協、朝日地区民児協、古志原地区民児協、城北地区民児協、白潟地区社協、松江キワニスクラブ、明和印刷、松江ヤングロータリークラブ、しまね東部サポートステーション、くにびきエコクラブ、Fuku23会、くにびき料理クラブ2、自民党島根県連女性局、労金友の会、JAしまね、松江土建、県労福協、松江地区労福協、県社協、新婦人松江支部、生協しまね、松江保健生協、松江生協病院、介護医療院虹

「お昼ごはんと寺子屋」

地区社協や地区民児協、食改支部ボランティアさんと

夏休みなどの長期休暇期間に松江市内の2つの公民館で開催している「お昼ごはん+寺子屋（学習応援）」が、この夏休みも7月22日から8月18日までに、のべ4回開かれました。

18日の古志原公民館で開かれた寺子屋には、小学1年生から中学2年生までのフードバンク利用世帯の7人の子ども達と島大生や古志原地区社協、同民児協のボランティアさんら10人の総勢17人が参加しました。夏休みの宿題の合間の休憩には、民生児童委員さんが紙芝居を披露しました。

お昼は、ガパオライス、スープ、サラダなど、夏バテ防止のスタミナたっぷりのごはんをいただきました。

今年の寺子屋は、のべ4回、子ども達22人、ボランティアさん36人が参加しました。



津田公民館



ちびっ子プログラマー誕生

7月30日「夏休みプログラミング体験教室」がリコーディジャパン島根支社さん、リコーITソリューションさんと共に開かれました。小1～小6年までの子どもたちや保護者など8人をはじめ、3人の技術者のみなさんなど、総勢18人が参加しました。

レゴロボットを動かすプログラミングを学習しレゴロボが走り出すと歓声があがり2時間ほどの手解きで、ちびっ子プログラマーが誕生しました。



宍道湖畔でバーベキューとスイカ割り

8月4日、秋鹿なぎさ公園で夏休み野外体験「宍道湖にスワンボートを浮かべ、湖畔でバーベキュー体験」を開催し、小学1年生から中学1年生までの11人と、フリースクールサクラ高等学院の生徒さんや先生など総勢25人が参加しました。

この日の企画は、今年もフリースクールサクラ高等学院の生徒さんらが相談し、準備してくれました。

あいにくの強風でスワンボートの乗船は急遽取りやめになりましたが、サクラ高等学院の生徒さんらが機転を利かせ、水遊びで子どもたちも楽しい時間が過ごされました。

お昼は、高校生が汗だくになり炭火をおこして準備したバーベキュー。鶏肉、牛肉、ベーコン、ワインナー、野菜、ジャガバターなど、子どもたちの大好きなものが勢揃いし、大喜びでした。

最後のスイカ割り企画には、大きな歓声が響いていました。



スイカ割り/秋鹿なぎさ公園

ピストロ庵タンドールさんから 「夏休みこども笑顔ランチ」のご招待

「ご招待チラシ」を7月便ですべての利用世帯に呼びかけたところ、最終日におやこで参加したおかあさんから「娘といっしょに行きました。美味しいですよ」とお礼が届きました。



生協しまねさんの「生協注文によるフードドライブ」には201人の組合員さんから995点の食品の寄贈がありました。

あつたか元気便（8月便）フードドライブ協力 14 団体・企業（個人除く、敬称略）

城北公民館、上口福祉会、(株)ラッシュ、合同青果、バンブー、西光寺、国分西日本山陰支店、中四国農政局島根拠点、島根トヨペット、松江土建、JAくにびき、生協しまね、松江保健生協、松江地区つながりセンター